

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ふじのくに静岡優良住宅

グループの名称

ふじのくに静岡優良住宅の会

直近採択グループ番号

06-0263-0428

(グループ代表者)

代表者名

木内 隆行

代表者印

代表者所属先

大隆木内工務店株式会社

代表者所在地

静岡県静岡市駿河区国吉田四丁目27番5号

代表者電話番号

054-262-1260

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社山清片山

事務局担当者名

山崎 久順

印

事務局郵便番号

420-0804

事務局所在地

静岡県静岡市葵区竜南3丁目16番18号

事務局電話番号

054-246-3111

事務局FAX

054-248-5592

事務局担当者E-mail

h\_yamazaki@yamasei-k.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	4	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		14	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟	/			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	「未経験工務店」に優先して配分する。経験のある工務店に関しては「三世代同居」、ゼロ・エネルギーではランクアップ外皮平均熱貫流率に該当する物件に優先して配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	17	戸	交付申請戸数	16	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	16	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふじのくに静岡優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ふじのくに静岡優良住宅の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0263-0428	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・原則として品確法における耐震等級2以上、かつ静岡県建築設計指針に沿った設計を行う。 ・地盤調査を必ず実施。地耐力20KN/m <sup>2</sup> 未満の際は、設計士の指示に従い、適切な地盤改良工事を行う。 ・気密施工に配慮し温度差をなくすなどヒート・ショック対策を視野に入れた寒暖差のバリアフリーも考慮する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	日射、通風に配慮した設計とし、防災瓦(瓦屋根の場合)や風の影響を受けにくい屋根材を使用するなどの台風対策を行う	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	日照が多い地域なので、南側の窓以外は、Low-e(遮蔽型)を使用するルールを設定する(南側は冬場の日射を取り入れることを考慮し、Low-e(遮蔽型)は使用しない)軒や庇、シェードなどを利用して冬季には日射を取り入れ、夏季の日射は遮るように設計を行う。	○
④①～③の背景	静岡県は東南海地震が想定される地域である為、耐震に配慮した。また、台風はどの地域を通っても強風域に入る傾向にあり、対策を講じる必要がある。 温暖な地域で断熱に消極的なためヒートショック等による死亡率が高い、高齢者の割合が年々増加し、住宅においても早急な高齢者対策が必要である	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	維持管理計画を作成し長期的なコストに関してもエンドユーザーに説明を行う	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造部材は、一般的に普及している規格のものを設計を行う。やむを得ず規格外の材料を使用する場合は、乾燥工程の管理が徹底された材料を使用する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様書を設定し、統一の建材・用材の使用を明記する	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: モデル仕様書を作成、未経験事業者が取り組み易いようにする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 推奨建材リストを設定・活用し、同一製品を大口で購入することで、コスト・ダウンを図る。また、原木・製材・流通・プレカット事業者が中心となり、情報を共有化し円滑に物件に反映できるよう努める。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様の周知と共通のフォーマットを利用することで調達事務の合理化を図る	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 討部会において生産体制などについての検討を適宜実施し、より合理的でコストパフォーマンスに優れた生産体制を目指す	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: モデル仕様書を作成、未経験事業者が取り組み易いようにする。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準仕様書に基づいた現場チェック・シートを作成し、施工主への提示・説明を義務付ける。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 低炭素あんしん検査(株式会社住宅あんしん保証提供)を推奨検査とし、第三者の視点から設計図書通りに認定基準を満たした施工を行っているかチェック体制を整備する	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材流通、施工事業者に至るまで同じフォーマットを利用し効率化できるように努める	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記取り決め等について、運用が困難な事業者に対するサポートを強化する為、説明会や講習会だけでなく事務局が訪問し徹底を図る。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1日1回以上、現場の片付けを実施し躓きなどによる転倒を防止する。作業時間2時間毎に5分以上の休憩をとる。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ゼロエネルギー住宅や長期優良住宅などの認定住宅は一般的な住宅(基準法適合レベル)に比べペイニシャルコストが高くなるため、光熱費の削減や長寿命になることで長期的にみればコストが抑えられる。地元のファイナンスプランナーと協力し、ライフサイクルコストの説明を行い、地域型住宅の普及を図る。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふじのくに静岡優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふじのくに静岡優良住宅の会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0263-0428		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報のメンテナンステナンス基準	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『あんしんいえかるて』(住宅あんしん保証:第三者住宅履歴管理システム)を利用し生産者情報も住宅履歴情報として蓄積する	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『あんしんいえかるて』(住宅あんしん保証:第三者住宅履歴管理システム)を利用する	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検完了報告書提出の義務化と未報告者への事務局からの督促を徹底する	○
	② メンテナンステナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報システム(株住宅あんしん保証 いえかるて)からの指定点検時期の告知を活用する(1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年の実施)若しくは、定期点検時期を施工者・施主ともに知らせてくれるサービスを利用する	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会発行「維持管理の考え方とガイドライン」に基づき点検、補修を行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期検査記録書を事務局へ報告する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会発行「維持管理の考え方とガイドライン」や一般財団法人 住宅金融普及協会発行の「住まいの管理手帳」を使用した勉強会の実施	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1~2回 地域の方が参加できるイベントを開催し木工教室などの体験会を実施する	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1~2回 地域の方が参加できるイベントを開催し住宅メンテナンス相談会を実施する	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書の作成、点検の実施状況、指定時期における報告書の回収を通じて、定期的に維持管理検討部会を開催して情報の共有と会員事業者への徹底を図る	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般財団法人 住宅金融普及協会発行の「住まいの管理手帳」を施主様に案内し、日常点検の行い方を説明する	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者保護の観点からも住宅あんしん保証の『完成保証』制度を付保することにより、万が一の場合のお施主様の安心を確保する	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 株住宅あんしん保証 の協力のもと勉強会を実施する	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		施工事業者1社に1人以上「既存住宅現況検査技術者講習(住宅瑕疵担保責任保険協会)」を受講し認定を受けることで、既存住宅インスペクション・ガイドラインに沿った点検を行えるように周知を図る	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループに登録している経験のある設計事務所と事務局が未経験工務店へ指導を行う。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良あんしん検査(株式会社住宅あんしん保証提供)を推奨検査とし、第三者の視点から設計図書通りに認定基準を満たした施工を行っているかチェック体制を整備する	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良あんしん検査の検査済証の写しを事務局へ提出する	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 静岡県産の木材製品を積極的に採用・利用することで、静岡県全体の木材の地産・池消を促進し、県全体として計画性をもって需給調整を図る	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ZEHだけでなくLCCM住宅の、標準仕様を策定し定期的に勉強会を行うことで、省エネや地域の木材利用によって運搬に係るCO2の削減などの理解を深める。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準仕様を基盤とし、仕様を一本化することで不慣れな商品を使用した場合のミスなどをなくす。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 21 今年度の参加目標人数 10	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 21 今年度の参加目標人数 10	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ会員に静岡地区の講習会予定日をメール配信などで連絡をす	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: CASBEE-戸建による評価を推奨することで、環境性能においても認知度を高める	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		一般社団法人 日本エネルギーパス協会が行うエネパス講習・外皮計算講習・エネパス利用者講習を実施し、一次消費エネルギー計算や外皮計算を施工事業者、設計事業者が出来るように教育する。 目標受講者数10名	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふじのくに静岡優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふじのくに静岡優良住宅の会	(結成年) 2012 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0263-0428													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	静岡県産材、合法木材を中心とした産地証明が明確な地域材の活用をする。トレースを明確に行い会内で確認を行う。含水率20%以下を原則とする												
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない      <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない      <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない      <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない      <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木供給事業者、製材事業者が海外事業者である場合、本申請において必要とされる念書の入手が不可能であるため、海外事業者の登録を行っていない。その場合、出荷者の合法性の証明で対応する。												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通事業者を中心に川上事業者と連携を図り、供給量の確認を行う												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通事業者を中心に川上事業者と連携を図り、価格の確認を行う												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 予定物件と地域材使用予定量を事務局にて把握する												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 70 枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 150 坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 40 枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 40 枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地場産業である家具事業者との連携を図る												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地場産業である家具事業者との連携を図り造りつけの家具などに和のテイストを盛り込む。												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定期的に勉強会を開き静岡の気候風土、文化に沿った住宅を学ぶ												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループの住宅を建てて下さった施主様に対して御茶会等の地域交流の情報を案内する。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和のテイストを盛り込むことで静岡の景観に配慮する												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳や瓦、静岡県産材を使用した腰板などを積極的に使用する												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	維持保全計画書の作成添付、結果履歴添付												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	グループ内に登録している被災地の事業者「石巻合板」で製作している合板を積極的に使用することで、被災地の活性化をめざす	○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> ふじのくに静岡優良住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 静岡県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> ふじのくに静岡優良住宅の会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0263-0428	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴                  ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。                  ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>地域の活性化の為、地元静岡の木材を積極的に利用し地域の景観に配慮した和の要素を盛り込んだ住宅とする。                  長期優良型は長期優良住宅の未経験事業者が取り掛かりやすいように耐震等級を”2”で設定している。グループでは、引き渡し後のメンテナンスにが重要と考え一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会(住活協)作成の「維持管理の考え方とガイドライン」を活用しメンテナンスの重要性や方法を施工業者に認識して頂き住宅履歴情報システム等を活用する。</p> <p>①認定低炭素住宅: 省エネルギー性だけでなく、水資源の有効活用に重点を置き「節水トイレ」「節水水栓」「雨水または井水、雑排水利用」の何れかを使用する。</p> <p>②性能向上計画認定住宅: 省エネルギー性能の向上を目的としBEI0.75以下を目標値とする。</p> <p>③ゼロ・エネルギー住宅: ZEHの基準に加え、太陽光を除くエネルギー削減率を25.0%以上と定める。これは、グループ内にゼロ・エネルギー住宅で補助金の申請を過去に経験した施工事業者が少ない為、ゼロ・エネルギー住宅に取り組み易い内容としています。                  その一方で静岡県は年間日射量が高い地域なのでLOW-E遮熱型 A10のガラスを標準とし日射対策をしています。また、高い日射量を利用し太陽光発電システムによりエネルギーを作り出しエネルギー削減率101%を基準値としています。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。